

第 21 表 都道府県別、業態別の商店数、従業者数、年間販売額

1) 商店数、従業者数は、昭和49、51、60年については各年の5月1日現在、昭和54、57年は6月1日現在の調査による。年間販売額は、昭和49、51、60年は各年の5月1日前1年間、昭和54、57年は6月1日前1年間の合計である。
 2) 昭和54年以降は、飲食店の従業者数、年間販売額にバー、酒場等は含まない。
 3) 昭和49年以降は沖縄県を含む。
 4) 昭和60年は、飲食店調査は実施されていない。

都道府県	商店総数	卸 売 業			小 売 業			飲 食 店		
		商店数	従業者数	年間販売額	商店数	従業者数	年間販売額	商店数	従業者数	年間販売額
昭和49年	2 382 627	292 155	3 289 663	173 113 132	1 548 184	5 303 378	40 299 895	542 288	2 025 595	4 711 062
51	2 570 317	340 249	3 512 973	222 315 445	1 614 067	5 579 800	56 029 077	616 001	2 260 371	5 808 526
54	2 779 090	368 608	3 672 638	274 545 131	1 673 667	5 960 432	75 564 400	736 815	1 798 193	6 876 407
57	2 988 772	428 858	4 090 919	398 536 234	1 721 465	6 369 426	93 971 191	838 449	1 964 880	8 685 774
昭和60年	2 041 660	413 016	3 998 437	428 290 656	1 628 644	6 328 614	101 719 064
北海道	78 860	16 599	162 125	14 037 422	62 261	304 280	5 592 558
青森県	27 022	4 124	37 077	2 109 397	22 898	87 049	1 221 976
岩手県	25 262	3 823	30 817	2 127 615	21 439	78 349	1 096 018
宮城県	37 611	8 096	79 046	8 554 474	29 515	115 853	1 774 238
秋田県	23 886	3 043	27 007	1 887 461	20 843	73 083	1 005 005
山形県	23 649	3 862	29 935	1 851 818	19 787	70 168	1 024 810
福島県	36 174	5 749	43 820	2 814 500	30 425	110 226	1 603 364
茨城県	42 166	6 690	49 980	3 358 693	35 476	133 362	2 071 254
栃木県	32 473	5 835	43 581	2 848 432	26 638	96 140	1 554 747
群馬県	32 336	6 146	48 830	3 598 961	26 190	95 575	1 550 964
埼玉県	71 908	12 052	92 545	6 261 346	59 856	245 506	4 172 002
千葉県	62 119	9 973	78 399	4 968 355	52 146	230 081	3 828 962
東京都	219 011	68 182	854 582	157 242 287	150 829	666 882	12 991 767
神奈川県	86 184	14 428	126 599	9 421 858	71 756	323 442	5 812 709
新潟県	46 065	8 281	74 202	4 949 977	37 784	136 279	1 956 371
富山県	22 979	4 071	35 564	2 690 192	18 908	63 893	954 090
石川県	22 477	4 613	40 177	3 087 036	17 864	65 431	1 027 013
福井県	16 564	3 141	24 873	1 567 177	13 423	47 245	725 523
山梨県	15 405	2 329	18 486	892 078	13 076	42 569	669 103
長野県	35 463	5 912	51 655	4 302 215	29 731	111 993	1 920 382
岐阜県	36 704	8 013	60 831	3 149 375	28 691	102 570	1 593 816
静岡県	63 955	13 286	105 988	8 050 838	50 669	186 553	3 008 916
愛知県	110 685	28 313	293 664	38 109 155	82 372	331 145	5 766 514
三重県	29 950	4 845	37 412	2 035 573	25 105	91 383	1 397 877
滋賀県	18 059	2 621	19 724	1 013 122	15 438	58 526	890 393
京都府	47 764	9 694	95 342	5 354 775	38 070	144 544	2 235 838
大阪府	163 525	45 712	536 541	68 596 049	117 813	458 744	7 930 954
兵庫県	86 541	14 896	129 524	8 973 106	71 645	271 285	4 227 597
奈良県	17 753	2 048	15 338	703 142	15 705	55 026	763 937
和歌山県	22 733	3 458	24 092	1 131 055	19 275	61 591	804 703
鳥取県	10 891	1 829	15 207	873 023	9 062	34 651	490 210
島根県	15 752	2 352	18 132	995 419	13 400	46 073	628 645
岡山県	32 438	5 513	49 601	3 430 413	26 925	102 130	1 555 730
広島県	50 242	10 847	98 989	9 026 314	39 395	153 335	2 412 642
山口県	30 141	5 275	40 696	2 685 061	24 866	93 942	1 308 379
徳島県	16 881	2 264	19 291	843 096	14 617	45 144	608 993
香川県	20 014	4 072	35 874	3 141 019	15 942	55 545	834 232
愛媛県	28 431	4 540	36 786	2 206 969	23 891	82 490	1 140 268
高知県	17 699	2 506	19 843	846 380	15 193	50 145	638 095
福岡県	82 841	17 579	181 870	16 400 730	65 262	267 051	3 998 295
佐賀県	16 046	2 487	19 991	1 088 651	13 559	48 741	642 586
長崎県	29 152	4 258	35 189	1 802 133	24 894	88 230	1 124 715
熊本県	31 439	4 800	40 658	2 814 370	26 639	100 330	1 412 716
大分県	23 188	3 424	28 241	1 484 195	19 764	73 765	964 245
宮崎県	21 773	3 442	26 624	1 380 068	18 331	66 465	864 269
鹿児島県	34 261	4 828	38 800	2 412 431	29 433	97 558	1 218 864
沖縄県	25 008	3 165	24 889	1 172 900	21 843	64 246	702 782

資料 通商産業大臣官房調査統計部「商業統計表」

第 13 章
金 融

第 13 章 金 融

概 況

昭和60年度の日本経済は、米国景気のスローダウンによる輸出の鈍化と、日米経常収支不均衡是正のために、9月22日にニューヨークで開催されたG5（主要先進5か国蔵相・中央銀行総裁会議）の合意による為替相場の円高化により、減速しはじめた。しかし、経常収支黒字は、原油価格の下落や海外景気の緩やかな拡大により、550億ドルと最高を記録した。

このような情勢の下、我が国の金融の自由化・国際化は、2年目を迎えた。

現在の金融制度には、基本的に、金利規制、業務分野の規制、内外市場の遮断の3つの規制があり、59年5月の「日米円・ドル委員会報告書」の発表後、まず、初年度は、非居住者に対するユーロ円市場の開放、円転換規制の撤廃等、内外市場一体化のための措置を中心に進められてきた。

そして、60年度は、預金金利の自由化に焦点が移り、大口預金金利の自由化やCD（譲渡性預金）の短期化・小口化が実施された。

また、円建BA（銀行引受手形）市場の創設、短期国債の発行等、短期金融市場の整備・拡充も図られた。しかし、金融自由化の過程において、なおかつ、我が国の短期金融市場の自由化のおくれや規制色の強い短期金利と長期の自由金利との併存によるゆがみが表面化し、9月以降、約半年間長短金利が逆転した。

金融緩和期としては異例のこの現象は、60年度の金融政策が為替重視の下で運営されたことにも関連している。

また、円の国際化については、資金の調達や運用のための投資通貨としては進んだが、短期金融市場の自由化のおくれの影響を受け、決済の支払準備通貨としては、あまり使われておらずまだまだ未熟である。

預金については、市場金利預金（CD、MMC（市場連

動型預金）、大口定期、非居住者円預金、外貨預金）の割合が上昇し、貸出においても、金利設定がプライム・レート方式（公定歩合にスライドして決まる）からスプレッド方式（短期市場金利に一定マージンを上乗せして決まる）へ移行してきている。

企業においても、市場金利低下が続き、低コストで効率的に資金調達ができることから、インパクトローンの取り入れやスプレッド貸出の利用を大幅に増やした。

証券市場においても、債券先物市場の発足により、売買高が大幅に増加した。

このような状況の下で、府下の金融動向をみると、預金では、家計や企業の金利志向の高まりや新規金融商品の登場により、証券会社や生命保険会社等、他の金融機関に向かう資金が増加したため、郵便貯金は伸び悩んだ。しかし、銀行預金は、MMC導入や大口定期預金金利の自由化等を受けて、前年を上回る伸びをみせた。

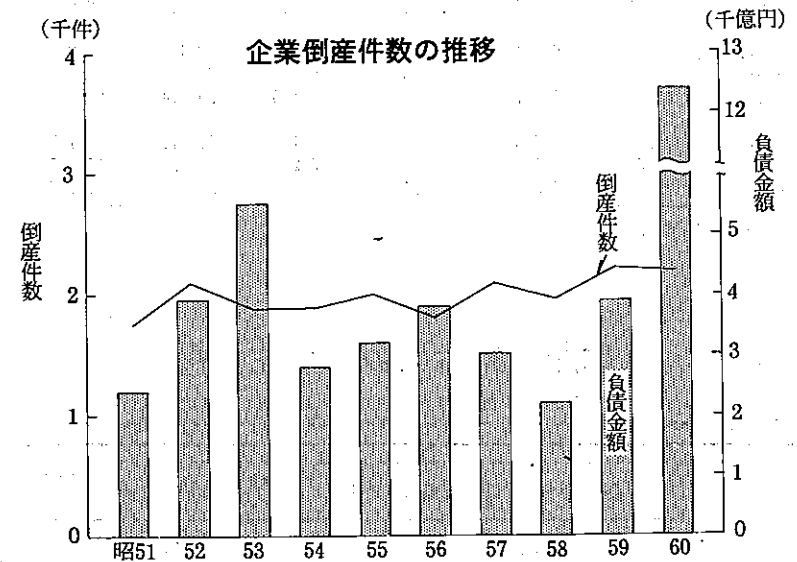
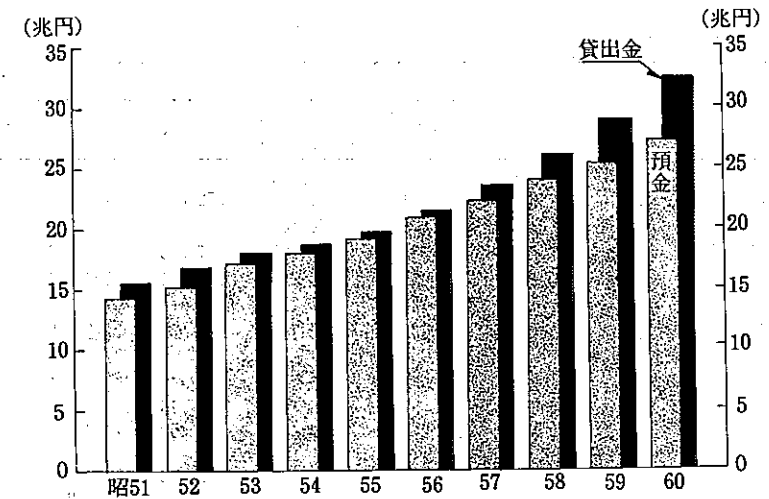
貸出金についてみると、全国銀行は堅調な伸びを示したが、中小企業金融機関は伸び悩んだ。これは、都市銀行を中心とした全国銀行が、優遇金利の適用拡大と共に、中小企業や個人向け融資の拡大を一段と強めたことによる。

企業倒産については、件数は前年を下回ったが、60年も59年同様大型倒産が目立ち、負債総額は、前年比214.5%の大幅増となった。

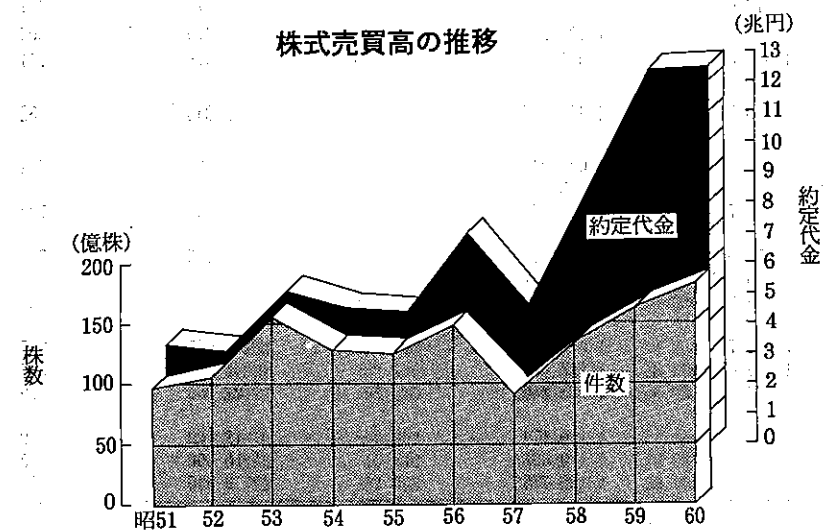
60年の株式市場は、前半は、国内の資金余剰や内外金利の低下傾向等を背景に上昇基調をたどった。しかし、後半は、円高による急伸もみられたが、米国景気動向等への懸念から波乱含みの展開となった。年間の売買高は、前年比12.5%増となり、47年に次いで開所以来第2位となった。

債券市場でも、国内外の金利低下傾向や円相場の上昇等を背景に、年間の売買高は、前年比86.6%増の過去最高を記録した。

大阪銀行協会社員銀行の預金貸出金の推移（各年末現在）



株式売買高の推移



第 1 表 日本銀行大阪支店主要勘定

1) 各年度末(月末)又は年度中(月中)のものである。

年度月	準備預金			貸 出			為 替			銀行券	財 政
	残	高	増減(△)	残	高	増減(△)	入	出	超	(△印=)	(△印=)
	億円			億円			億円			億円	
昭和56年度	3 591	△ 1 720		516	△ 864		74 731	252 636	177 905	8 198	△39 353
57	4 239	648		1 904	1 388		66 139	246 917	180 778	8 266	△41 987
58	6 653	2 414		3 955	2 051		68 200	257 558	189 357	7 445	△39 540
59	5 747	△ 906		1 624	△ 2 331		74 967	278 251	203 284	8 114	△41 500
昭和60年度	5 368	△ 379		4 956	3 332		70 744	292 833	222 089	8 278	△40 529
60年4月	3 763	△ 1 984		2 687	1 063		3 763	26 458	22 695	668	△ 2 507
5	4 408	645		2 230	△ 457		6 571	23 375	16 804	△ 859	△ 452
6	4 704	296		1 982	△ 248		10 699	27 462	16 763	2 581	△ 6 436
7	3 908	△ 796		4 496	2 514		2 920	22 312	19 392	△ 127	△ 5 047
8	4 123	215		2 850	△ 1 646		8 361	22 585	14 224	336	△ 4 035
9	4 924	801		4 112	1 262		4 067	23 632	19 565	889	△ 3 849
10	3 111	△ 1 813		5 421	1 309		3 470	22 472	19 002	△ 87	△ 2 860
11	4 910	1 799		2 293	△ 3 128		9 285	27 727	18 442	1 224	150
12	3 409	△ 1 501		5 227	2 934		4 416	26 974	22 558	4 842	△ 6 979
61年1月	3 616	207		5 740	513		5 190	21 977	16 787	△ 3 143	△ 5 893
2	4 372	756		4 772	△ 968		5 275	20 830	15 555	811	△ 2 559
3	5 368	996		4 956	184		6 727	27 029	20 302	1 143	△ 62

資料 日本銀行大阪支店営業課

第 2 表 日本開発銀行大阪支店主要勘定

1) 各年度末又は月末のものである。

年度月	貸付金	開発資金貸付	見返承継貸付	貸付受入金		当座預け金
				貸付償還金		
昭和56年度	915 455	915 289	166	13 275	416	1
57	971 936	971 936	0	11 910	591	2
58	1 034 234	1 034 234	0	9 310	805	2
59	1 089 667	1 089 667	0	8 475	781	78
昭和60年度	1 120 775	1 120 775	-	6 910	38	18
60年4月	1 082 040	1 082 040	-	7 325	781	0
5	1 085 482	1 085 482	-	7 800	781	3
6	1 081 756	1 081 756	-	1 595	784	48
7	1 073 910	1 073 910	-	1 445	784	2
8	1 060 401	1 060 401	-	895	784	1
9	1 058 648	1 058 648	-	1 145	1 025	5
10	1 068 773	1 068 773	-	1 965	1 025	3
11	1 128 076	1 128 076	-	45 245	1 044	5
12	1 123 840	1 123 840	-	22 955	79	3
61年1月	1 119 178	1 119 178	-	12 120	79	1
2	1 110 805	1 110 805	-	10 400	79	3
3	1 120 775	1 120 775	-	6 910	38	18

資料 日本開発銀行大阪支店経理課

第 3 表 中小企業金融公庫大阪支店主要勘定

1) 年度末(月末)又は年度中(月中)のものである。

年度月	貸付残高	うち直接貸付	貸付金	直接貸付	代理貸付	現金・預け金
						残 高
昭和56年度	456 352	257 786	208 007	100 695	107 312	397 648
57	409 083	185 631	187 937	74 619	113 318	522 077
58	407 010	192 419	159 548	66 991	92 557	1 365 008
59	386 621	202 607	163 310	76 909	86 401	3 074 949
昭和60年度	376 491	226 317	157 223	93 905	63 317	2 539 109
60年4月	386 547	208 851	15 025	12 995	2 030	69 584
5	377 901	205 411	4 900	2 595	2 305	117 869
6	377 766	208 198	13 409	8 227	5 182	148 879
7	373 705	205 953	10 784	3 633	7 151	59 641
8	371 941	207 989	12 119	6 973	5 145	165 240
9	374 057	211 398	15 395	8 732	6 663	338 520
10	370 691	211 889	11 603	6 634	4 969	56 089
11	374 181	217 663	17 744	11 847	5 897	193 908
12	391 927	235 824	32 833	24 577	8 256	842 766
61年1月	383 839	231 752	3 253	1 289	1 964	132 274
2	375 338	227 845	3 457	1 407	2 050	247 223
3	376 491	226 317	16 701	4 996	11 705	2 539 109

資料 中小企業金融公庫大阪支店総務課

第 4 表 国民金融公庫貸付額

1) 大阪府管内各支店分をまとめたもので、各年度末(月末)又は年度中(月中)のものである。

年度月	貸付残高		貸付総額	普通貸付		恩給担保貸付	その他の貸付
	普通貸付	恩給担保貸付		普通貸付	うち直接扱		
昭和56年度	422 033	10 272	266 159	255 564	231 554	9 167	1 428
57	456 564	10 864	282 700	271 888	245 403	9 041	1 771
58	471 860	10 962	274 449	263 760	234 320	8 819	1 870
59	491 986	10 111	292 408	282 452	251 870	8 014	1 942
昭和60年度	511 848	8 792	300 775	291 938	257 718	6 813	2 023
60年4月	489 624	9 585	15 301	14 255	13 210	769	276
5	484 042	9 799	18 553	18 228	16 487	277	48
6	485 200	9 739	23 447	22 770	19 623	676	-
7	484 966	9 181	22 270	21 521	19 277	749	-
8	485 307	9 415	22 111	21 822	19 267	290	-
9	486 859	9 417	20 634	19 910	16 920	724	-
10	486 811	8 863	27 325	26 612	24 334	713	-
11	497 822	9 031	37 449	37 220	33 690	200	28
12	522 620	8 479	55 170	53 670	46 986	1 340	161
61年1月	512 295	8 673	8 607	8 245	6 784	287	75
2	509 282	8 865	15 540	14 722	12 979	224	594
3	511 848	8 792	34 368	32 963	28 162	564	841

資料 国民金融公庫大阪支店総括室

第5表

日本銀行大阪支店

Table with columns: 年度月, 財政資金, 対民間収支, 一般會計 (総額, 租税, 専売公社, 税外収入, 社会保障, 防衛, 公事業費, 交付金, 義務教育費). Rows include 昭和56年度 and 昭和60年度.

資料 日本銀行大阪支店国庫課「管内財政資金対民間収支内訳」

第6表

大阪銀行協会社

1) 国内に本店を有する銀行の大阪府下における本店並びに支店に関するもので、日本銀行、日本輸出入銀行、日本開発銀行、相互銀行及び外国銀行を除く。

Table with columns: 年月, 銀行, 店舗数, 預金 (総額, 当座預金, 普通預金, 通知預金, 納税準備預金, 定期預金, 定期積立, 非居住者円預金, その他の預金), 借入金. Rows include 昭和56年 and 昭和60年.

資料 大阪銀行協会「社員銀行月報」

財政資金対民間収支

Table with columns: 特 別 会 計 等 (その他, 食糧管理, 保 險, 国有鉄道, 電電公社, 治 水, 道路整備, 郵便局関係, 資 金 運 用 部, 金融公庫, その他, 調整事項). Rows include 昭和56年度 and 昭和60年度.

員 銀 行 諸 勘 定

Table with columns: コールマネー (売渡手形), 貸 出 金 (総額, 手形貸付, 証書貸付, 当座貸越, 割引手形), コールローン (買入手形), 有価証券, 現 金, 預 け 金. Rows include 昭和56年 and 昭和60年.

第 8 表 都市別、金融機関預金・貸出状況

1) 各年度末現在である。ア) 年度計は店舗毎単位未満切り捨ての関係で市部・郡部の計とは合わない。
a) 吹田市には摂津市の計数を含む。b) 八尾市には柏原市の計数を含む。c) 四条畷市には交野市の計数を含む。

Table with columns: 市区部, 全国銀行, ア)相互銀行, 信用金庫. Sub-columns include: 本支店数, 預金, 貸出金, 資本量, 融資量. Rows include 昭和56年度, 昭和60年度, and various cities like 大阪市, 堺市, 岸和田市, etc.

資料 大阪銀行協会

第 9 表 中小金融機関の預金・貸出額

1) 府下に所在する各店舗の計数をまとめたもので、各年度末現在の額である。
2) 農業協同組合の貸出額には割引手形を含む。

Table with columns: 年 度, 商工組合中央金庫, 農林中央金庫, 相互銀行, 信用組合, 労働金庫, 信用金庫, 農業協同組合. Rows include 昭和56年度, 57, 58, 59, and 昭和60年度.

資料 近畿財務局経済調査課、大阪府労働部労働福祉課、同農林部農政課、同商工部金融課

第 10 表 郵便貯金の現在高

1) 大阪府管内における各年度末又は月末現在高である。
ア) 記録不能金を含む。イ) 割増金付定期貯金及び定期貯金を含む。

Table with columns: 年 度 月, ア)総 数, 通常貯金, 積立貯金, 住宅積立貯金, イ)定額貯金. Sub-columns include: 口座数, 金 額. Rows include 昭和56年度, 昭和60年度, and 61年 1月.

資料 大阪地方貯金局「事業概況」

第 11 表 手形交換高及び不渡手形

1) 各年月中的のものである。2) 取引停止処分は不渡手形に基づき取引停止処分数、不渡手形は交換日における月中合計。

Table with 11 columns: 年 月, 大 (手形交換高, 不渡手形, 取引停止処分), 全 (手形交換高, 不渡手形, 取引停止処分), 国 (手形交換高, 不渡手形, 取引停止処分). Rows include昭和56-59年 and昭和60年1-12月.

資料 日本銀行調査統計局「経済統計年報」

第 12 表 業種別、手形取引停止処分件数

1) 資本金100万円以上の法人に関するものである。

Table with 13 columns: 業 種, 昭和56年, 昭和57年, 昭和58年, 昭和59年, 昭和60年. Rows include製造業, 繊維業, 木竹製品業, 印刷業, 石油業, 窯業, 鉄業, 金属製品業, 機械器具業, 輸送業, 卸売業, 飲食業.

資料 東京銀行協会調査部「手形交換統計年報」

第 13 表 業種別、企業倒産状況

1) 負債金額1,000万円以上のもので、内整理その他を含む。

Table with 11 columns: 業 種, 昭和56年 (件数, 負債額), 昭和57年 (件数, 負債額), 昭和58年 (件数, 負債額), 昭和59年 (件数, 負債額), 昭和60年 (件数, 負債額). Rows include製造業, 繊維業, 卸売業, 建設業, 運輸・通信業, サービス業, その他, 全 国, 近 畿.

資料 帝国データバンク大阪支社

第 14 表 株式売買高と株価指数

1) 各年月中的のものである。2) 売買高は市場で契約された数量で片方計算、約定代金は売買高に約定値段を乗じたものの合計である。なお売買高、約定代金とも立会場内と立会場外の合計。

Table with 13 columns: 年 月, 大 (売 買 高, 約定代金), 全 (売 買 高, 約定代金), 国 (売 買 高, 約定代金). Rows include昭和56年, 昭和57年, 昭和58年, 昭和59年, 昭和60年1-12月.

資料 大阪証券取引所「統計年報」

第 15 表

簡易生命保険の

1) 大阪府下における各年度中のものである。

年 度	新 契 約				年 度 末 現 在			受	
	件 数	保 険 料	保 険 金 額	一 件 平 均 保 険 金 額	件 数	保 険 金 額	一 件 平 均 保 険 金 額	總 数	
								口 数	金 額
昭和 56 年 度	309 921	3 095 315	656 538	2 118	3 381	4 203 491	1 243	19 646	240 443
57	312 084	3 943 641	632 894	2 028	3 406	4 557 386	1 338	19 748	256 914
58	313 736	3 986 703	686 382	2 188	3 416	4 919 256	1 440	19 726	272 595
59	362 966	3 460 094	846 082	2 331	3 467	5 401 010	1 558	19 727	299 337
昭和 60 年 度	383 013	3 893 294	935 459	2 442	3 543	5 941 925	1 677	19 915	339 148

資 料 近畿郵政局「近畿郵政局統計年報」

第 16 表

債券の種類別売買高

年 月	總 額		売 買 高 内 訳										転換社債
	売 買 高	約定代金	国 債	地方債	政 府 保 証 債	利 付 電 債	割 引 電 債	其 他 特 殊 債	金 融 債	社 債	門 貨 建 外 国 債		
昭和 56 年	560 388	509 348	524 706	285	285	14 944	12 311	285	1 425	6 033	114	341 219	
57	929 310	904 160	893 211	285	285	14 859	13 424	285	1 425	5 413	122	274 005	
58	1 393 977	1 384 662	1 359 205	286	286	14 035	12 980	286	1 430	5 400	68	575 675	
59	1 984 980	2 012 142	1 954 546	287	287	12 536	10 787	287	1 435	4 734	81	973 191	
昭和 60 年	3 704 994	3 843 045	3 677 557	285	285	11 227	9 637	285	1 425	25 093	64	1 531 573	
1 月	254 983	265 528	252 781	22	22	902	792	22	110	330	2	93 875	
2	248 319	254 341	246 137	22	22	902	772	22	110	330	2	72 241	
3	253 114	259 790	250 732	24	24	979	840	24	120	360	11	94 814	
4	223 985	231 804	221 627	24	24	960	839	24	120	2 159	6	74 677	
5	217 067	224 394	214 738	24	24	960	816	24	120	2 136	0	130 826	
6	317 309	329 622	314 987	24	24	952	816	24	120	2 128	2	165 599	
7	440 871	452 979	438 369	26	26	1 014	883	26	130	2 287	7	191 905	
8	406 791	417 849	404 320	26	26	1 014	858	26	130	2 262	0	159 668	
9	426 077	444 883	423 978	22	22	850	726	22	110	1 906	16	180 847	
10	335 068	357 373	332 715	25	25	950	823	25	125	2 148	4	193 377	
11	231 082	234 063	228 962	23	23	874	736	23	115	1 932	3	68 994	
12	350 324	370 414	348 207	23	23	870	736	23	115	1 928	5	104 747	

資 料 大阪証券取引所「統計年報」

契約高及び受払高

年 度	入				払 出					
	保 險 歳 入 金		保 險 貸 出 金		總 数		保 險 歳 出 金		保 險 貸 出 金	
	口 数	金 額	口 数	金 額	口 数	金 額	口 数	金 額	口 数	金 額
昭和 56 年 度	19 416	228 729	230	11 714	581	142 423	360	113 240	221	29 183
57	19 505	242 388	243	14 526	594	155 222	373	124 458	221	30 764
58	19 479	256 512	247	16 083	630	186 700	400	152 597	230	34 103
59	19 478	280 733	249	18 604	645	223 911	424	189 222	221	34 689
昭和 60 年 度	19 668	319 286	247	19 862	649	256 805	431	220 607	218	36 198

第 17 表

郵便為替受払高

1) 大阪府下における各年度中のものである。

年 度	内 国 為 替				外 国 為 替				内 国 定 額 小 為 替			
	振 出 高		払 渡 高		振 出 高		払 渡 高		振 出 高		払 渡 高	
	口 数	金 額	口 数	金 額	口 数	金 額	口 数	金 額	口 数	金 額	口 数	金 額
昭和 56 年 度	544 493	32 081	579 462	31 959	14 638	845	2 083	65	926 625	600	665 485	482
57	578 536	36 215	629 582	36 233	14 613	859	1 958	77	1 197 846	735	834 640	587
58	611 093	38 498	662 904	39 392	15 038	959	2 110	72	1 486 528	772	1 058 771	625
59	553 653	38 796	550 859	38 270	15 542	985	2 236	75	1 771 144	902	1 167 441	686
昭和 60 年 度	560 173	39 930	560 827	37 673	18 162	1 302	2 455	77	1 840 488	947	1 175 025	727

資 料 近畿郵政局「近畿郵政局統計年報」

第 18 表

郵便年金受払高

1) 年金歳入金及び年金歳出金の口数には年金預り金、年金貸付金の受払口数を含む。

年 度	受 入				払 出			
	總 数		う ち 年 金 歳 入 金		總 数		う ち 年 金 歳 出 金	
	口 数	金 額	口 数	金 額	口 数	金 額	口 数	金 額
昭和 56 年 度	16 776	3 003 270	16 776	387 856	4 343	557 458	4 343	557 413
57	39 854	4 385 286	39 854	3 437 139	987	297 338	987	280 777
58	57 608	5 921 961	57 608	4 561 664	1 098	343 082	1 098	298 671
59	87 368	7 593 963	87 368	5 575 047	1 348	578 822	1 348	502 261
昭和 60 年 度	121 571	9 870 281	-	6 940 862	2 591	1 022 483	-	881 790

資 料 近畿郵政局貯金部

第 19 表 生命保険の契約状況

1) 生命保険協会に加入する民間23社の府下における契約状況をまとめたもので、外国に本社を置く保険会社は除く。
ア) 個人保険の件数と団体保険の被保険者数を加えたものである。イ) 金額を被保険者数で除したものである。

Table with columns for Year (昭和56-60), Total (件数, 金額), Individual Insurance (件数, 金額, 平均保険金), and Corporate Insurance (件数, 被保険者数, 金額, 平均保険金).

資料 生命保険協会「生命保険事業概況」

第 20 表 損害保険の契約状況

(1) 火災保険

1) 全損害保険会社(外国保険会社を除く)の取り扱った火災保険契約のうち、大阪府内の契約分を集計したものである。なお、各種月掛保険、簡易火災保険及び長期保険契約は除く。

Table with columns for Year (昭和55-59), New Contracts (件数, 保険金額, 保険料), and Paid Insurance (件数, 保険金).

資料 損害保険料率算定会「火災保険統計」

(2) 自動車保険

1) 自動車保険料率算定会会員の全損害保険会社(外国保険会社を含む)の取り扱った和文保険契約のうち、大阪府内の契約分を集計したものである。ア) 延台数である。

Table with columns for Year (昭和56-60), New Contracts (件数, 保険料, 人数, 保険金), and Paid Insurance (台数, 保険料, 件数, 保険金).

資料 自動車保険料率算定会「自動車損害賠償責任保険統計」「自動車保険統計」

第 21 表 大阪府の資金融資・貸付状況

ア) 59年度に体系・名称改正を行った。

Table with columns for Region (区), Year (昭和56-60), and Amount (件数, 金額).

資料 大阪府商工部金融課、指導課、国際交流課、工業課、同民生部社会課、児童課、同農林部農政課、同建設部住宅政策課

第 22 表 大阪府中小企業信用保証協会保証件数・金額

Table with columns for Year (昭和56-59, 60), Guarantee Applications (件数, 金額), Guarantee Commitments (件数, 金額), Current High Guarantee (件数, 金額), and Repayment (件数, 金額).

資料 大阪府中小企業信用保証協会

第 23 表 大阪市信用保証協会保証件数・金額

1) 大阪市特別融資分を含む。

Table with columns for Year (昭和56-59, 60), Guarantee Applications (件数, 金額), Guarantee Commitments (件数, 金額), Current High Guarantee (件数, 金額), and Repayment (件数, 金額).

資料 大阪市信用保証協会

第 24 表 都道府県別、金融機関数及び預貯金残高

1) 各年度末のものである。2) 各金融機関ごとに単位未満を切り捨てて集計しているため都道府県の合計と全国計数は一致しない。

都道府県	金 融 機 関 店 舗 数					預 貯 金 残 高				
	全国銀行	相互銀行	信用金庫	信用組合	郵便局	全国銀行	相互銀行	信用金庫	信用組合	郵便局
	店					億円				
昭和56年度	9 058	3 973	5 891	2 619	22 510	1 749 154	301 124	378 153	96 634	695 628
57	9 392	4 096	6 246	2 682	22 616	1 865 349	324 837	407 459	105 256	780 978
58	9 673	4 227	6 509	2 750	22 763	2 012 776	348 371	434 097	113 114	862 932
59	10 189	4 213	6 859	2 797	23 587	2 025 317	358 285	469 397	120 954	940 421
昭和60年度	10 409	4 333	7 124	2 839	23 704	2 394 859	379 637	500 456	128 386	1 029 979
北海道	318	167	515	157	1 552	53 765	12 587	25 500	4 934	...
青森県	196	8	100	42	355	15 516	552	4 275	1 375	...
岩手県	137	55	84	11	436	10 946	3 781	3 333	291	...
宮城県	161	130	83	42	429	25 158	8 581	3 580	1 309	...
秋田県	149	53	58	28	398	12 067	2 870	1 613	594	...
山形県	131	108	46	35	396	10 834	5 518	1 885	1 327	...
福島県	133	114	109	70	553	15 758	6 597	6 004	2 269	...
茨城県	186	71	78	68	502	32 819	6 341	6 439	4 609	...
栃木県	129	59	81	43	348	24 730	5 694	5 008	1 384	...
群馬県	147	39	144	82	341	25 819	4 486	9 462	3 629	...
埼玉県	375	70	224	39	580	76 503	7 335	20 120	1 628	...
千葉県	377	127	222	70	644	59 984	11 288	13 629	3 433	...
東京都	1 404	281	846	398	1 344	857 519	52 779	92 561	24 931	...
神奈川県	507	89	317	89	660	106 258	6 979	27 483	4 320	...
新潟県	232	117	104	129	684	27 278	8 123	5 710	5 502	...
富山県	133	58	109	27	292	18 617	3 950	5 545	764	...
石川県	159	63	143	27	337	18 578	2 413	6 745	698	...
福井県	126	45	101	14	249	13 182	2 192	4 833	429	...
山梨県	69	2	54	84	274	10 107	312	3 503	4 052	...
長野県	135	44	121	57	687	24 717	3 756	9 390	2 845	...
岐阜県	174	51	150	77	453	25 460	4 533	15 043	2 937	...
静岡県	321	78	312	15	591	48 250	4 730	22 078	438	...
愛知県	379	290	492	82	883	113 027	31 099	40 391	4 478	...
三重県	175	87	76	31	452	21 046	7 638	4 444	718	...
滋賀県	105	58	46	36	251	14 404	4 957	3 835	1 322	...
京都府	202	58	288	29	472	47 200	4 085	29 898	2 040	...
大阪府	774	390	427	278	1 043	284 833	44 741	33 603	18 346	...
兵庫県	318	216	343	113	920	78 645	20 545	28 460	6 189	...
奈良県	123	43	37	12	314	21 231	3 037	3 162	543	...
和歌山県	83	72	60	57	314	14 377	5 841	3 726	2 539	...
鳥取県	101	35	46	-	245	6 989	1 761	2 096	-	...
島根県	77	31	58	26	378	6 765	1 595	1 701	718	...
岡山県	148	69	151	42	525	20 775	5 084	7 275	2 091	...
広島県	216	138	170	121	683	35 686	13 089	10 462	4 220	...
山口県	144	62	103	17	409	18 218	4 736	4 058	851	...
徳島県	109	60	36	-	239	11 693	4 303	1 449	-	...
香川県	129	70	48	31	220	16 139	4 670	2 569	884	...
愛媛県	143	121	75	6	396	18 055	11 664	3 524	212	...
高知県	79	70	48	5	325	7 453	5 213	1 934	245	...
福岡県	457	216	187	103	762	64 132	17 325	7 624	2 961	...
佐賀県	95	39	33	27	202	7 861	1 938	1 254	928	...
長崎県	200	65	32	48	443	17 514	3 601	975	1 193	...
熊本県	124	97	67	42	551	14 967	6 395	2 697	978	...
大分県	129	57	91	44	402	11 919	2 963	3 636	1 444	...
宮崎県	121	46	66	13	302	8 835	2 225	2 538	149	...
鹿児島県	130	65	119	72	711	12 484	3 457	4 381	1 612	...
沖縄県	149	49	24	-	157	11 725	2 252	1 005	-	...

物価
家計
び

第 14 章
物価及び家計